

新しい病院経営

株式会社榎戸材木店
会長 榎戸 正人

4月18日の金曜日の夕方、突然全身の力が抜けて倒れこんでしまいました。それまで、暑い中で家庭菜園や庭の手入れ、水撒きをしていて涼しい家の中に入ったので、軽い熱中症か貧血のような症状になったのかなと思い、床に倒れこんでいるところを買い物から帰ってきた妻に見つかり救急車を呼ばれてしまった……

5分ほどでサイレンを鳴らして家の前に救急車が停まる。何か恥ずかしい。このころには意識も戻り、なんとか歩けるようにもなったので、別に救急搬送してもらわなくてもと言ったのですが、呼ばれた以上は病院に搬送する義務があり、断られたからと言って搬送せずに容態が急変したら救急側が責任を負わされるとのこと。なるほどなと思いました。

ところが受け入れてくれる病院が見つからない……浦安市内、市川、船橋、さらに江戸川区、江東区まで探してもらったのに、金曜日の夕方はもっとも救急搬送が多いのだそうで、1時間以上待っても見つからない……ようやく習志野市で受け入れてくれる病院が見つかり、なんとか入院できました。

個室も空いていると言うので部屋に通されてビックリ。ワンルームアパートより広く、もちろんシャワーもついています。快適そのもので、このまま住み着いても良いくらいです。

さらに病院の食事と言えば不味くて当たり前と思われているのに、この病院の食事はまあまあ美味しい。塩分が控えめなので物足りない気はしますが、学校給食や企業の食堂の食事には負けません。

それどころか、追加費用を払って予約すると、カツカレーや天丼、オムライスも頼めて、なんと「春の行楽弁当」などという、どう考えても病院で出す食事ではないだろうと思われるメニューまであります。

なんなんだ、この病院はと思い、案内パンフレットを貰って読むと、「地域包括ケア病棟」で、リハビリ入院や転んだり心臓発作など急な病気の老人を主に受け入れる施設の様です。

朝の食事が終わるとリハビリ・タイム。歩行訓練をしたり軽い運動をさせて、60日間の入院期間内に少しでも元気になって退院してもらうのがコンセプト。私立の病院なので、何か特色を出さなくては生き残れないのでしょう。しかし、検査機器は充実していて、内視鏡治療には自信があるようで、おかげで私の3カ所の胃と十二指腸の潰瘍も1回で治療してくれました。

リゾート気分が1週間。たまたまではありますが、良い病院に運ばれて良かったなと思っています。

